

MAZE 8

メイズ

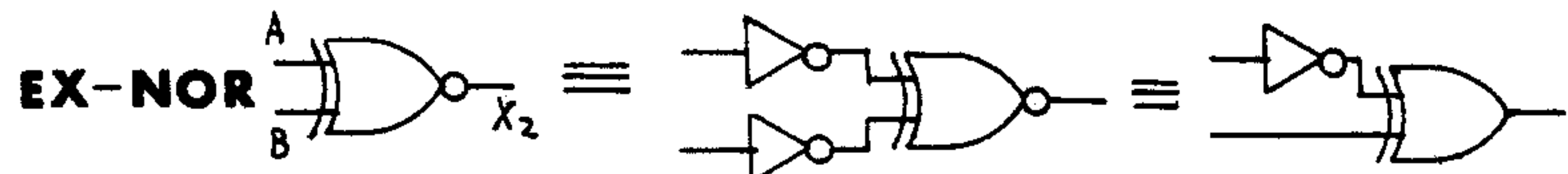
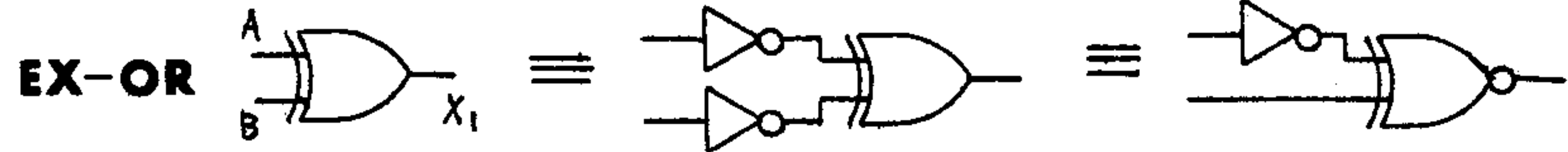
ikkei electronics

デジタル回路 (2)

前号の説明で、ORは2入力とも1の場合も出力は1となりましたが、この場合に0となるEX-OR (イクスクル-シフ・オア) という演算もあります。記号は \oplus 。

EX-OR : 入力A, Bのどちらか一方だけが1ならば出力は1となる。

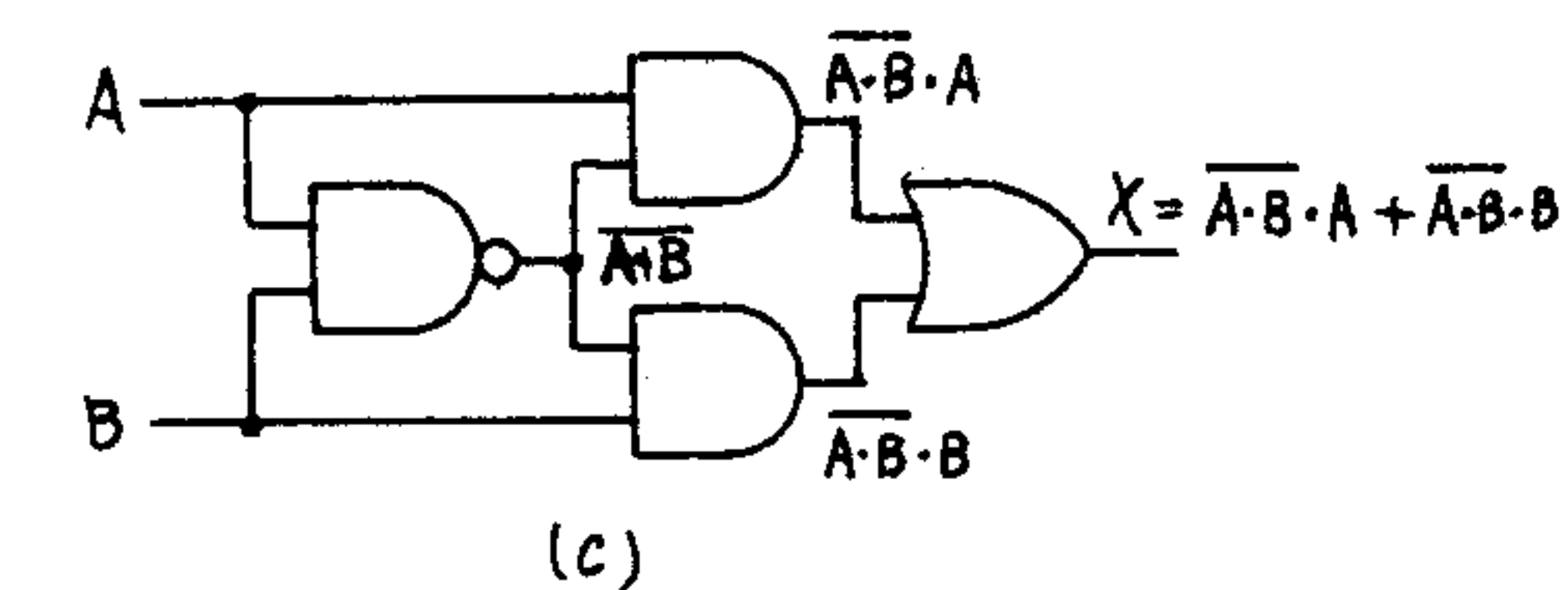
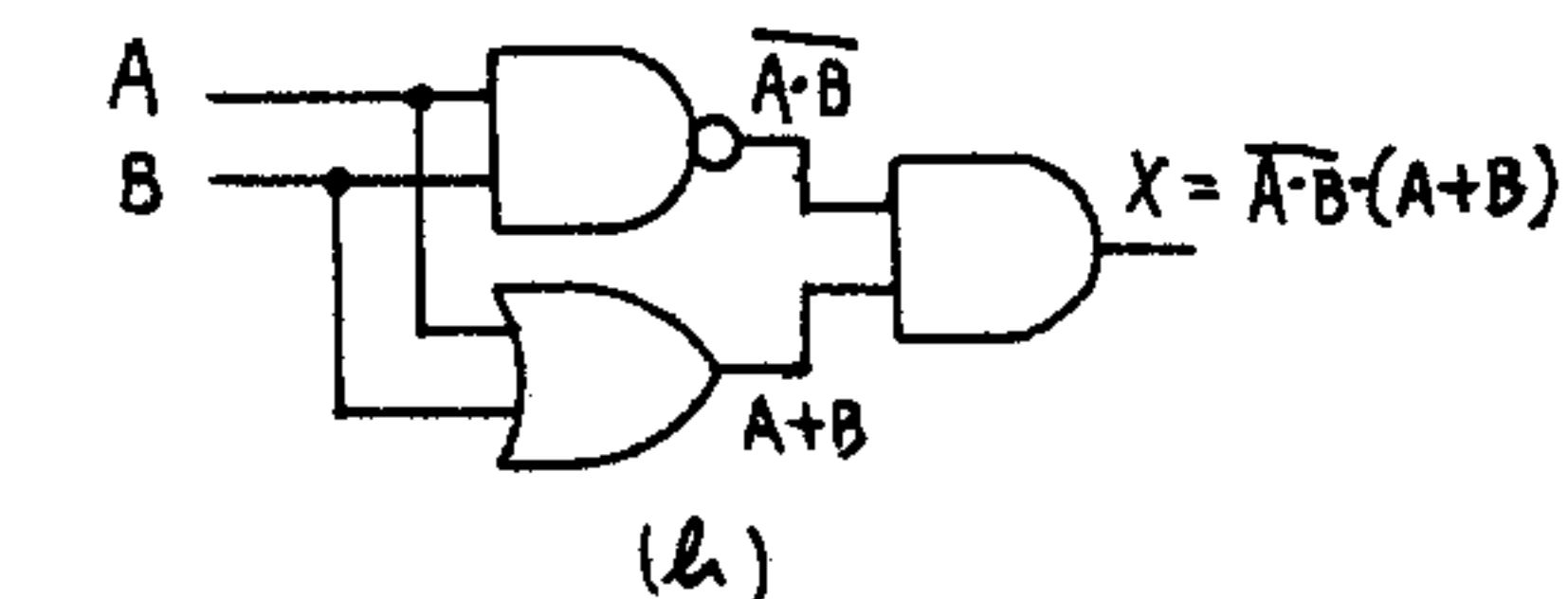
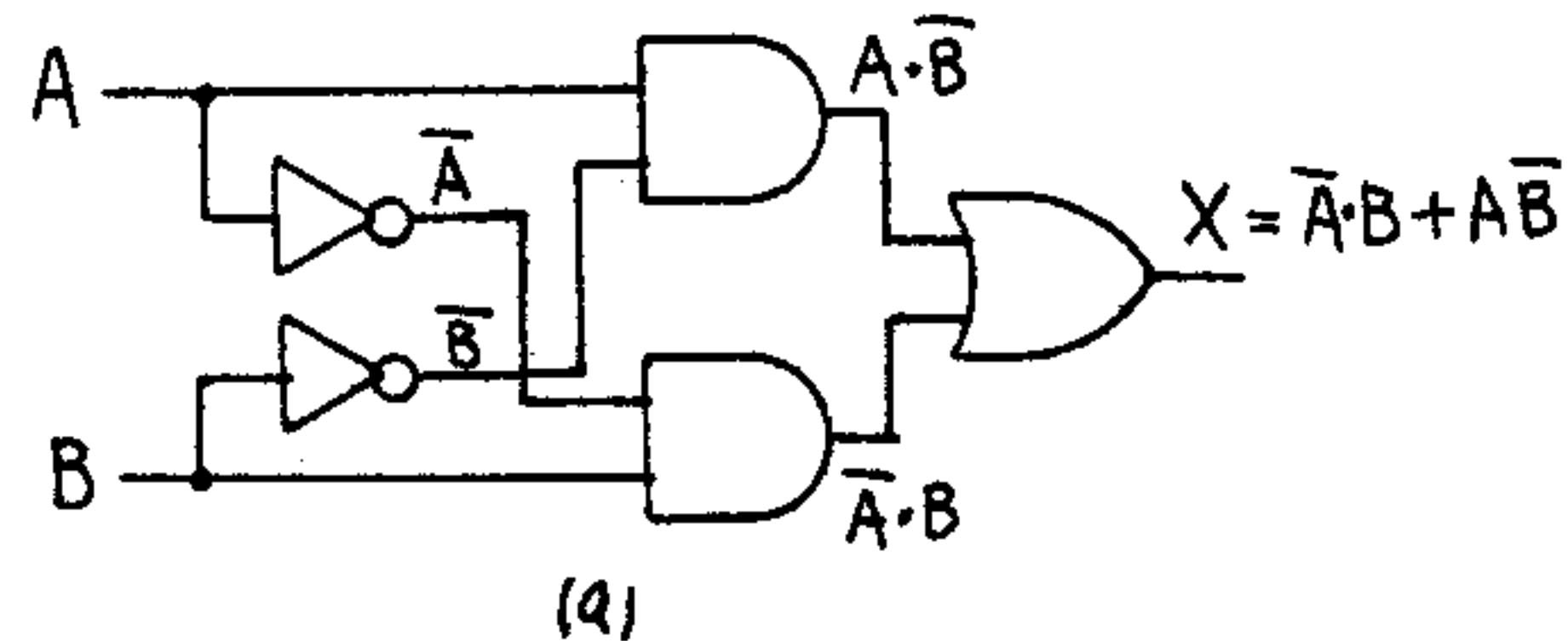
$X = A \oplus B$ となるわけですが、前の□には、1を入れても0を入れても同じなので、負論理入力はありません。それで、出力の正論理、負論理によって2種類のゲートがでます。例によって、負論理出力のゲートの名前には前にNが付きます。



入力	出力	X_1	X_2
A	B		
0	0	0	1
0	1	1	0
1	0	1	0
1	1	0	1

真理値表

左の真理値表をみるとわかる通り、EX-ORは不一致回路として、EX-NORは一致回路として使える事がわかります。また、AND, ORなどのゲートは、入力数がたくさんのももあります。では、このEX-ORを今までのゲートで構成してみましょう。真理値表から、出力が1になる場合を考えると、 $A=0, B=1$ の場合と、 $A=1, B=0$ の場合だから、 $X_1 = A \oplus B = \bar{A}B + A\bar{B} \dots (a)$ となる事がわかります。



これを右の公式を使って変形すると

$$A \oplus B = \bar{A}B + A\bar{B} = \bar{A}(A+B) + \bar{B}(A+B)$$

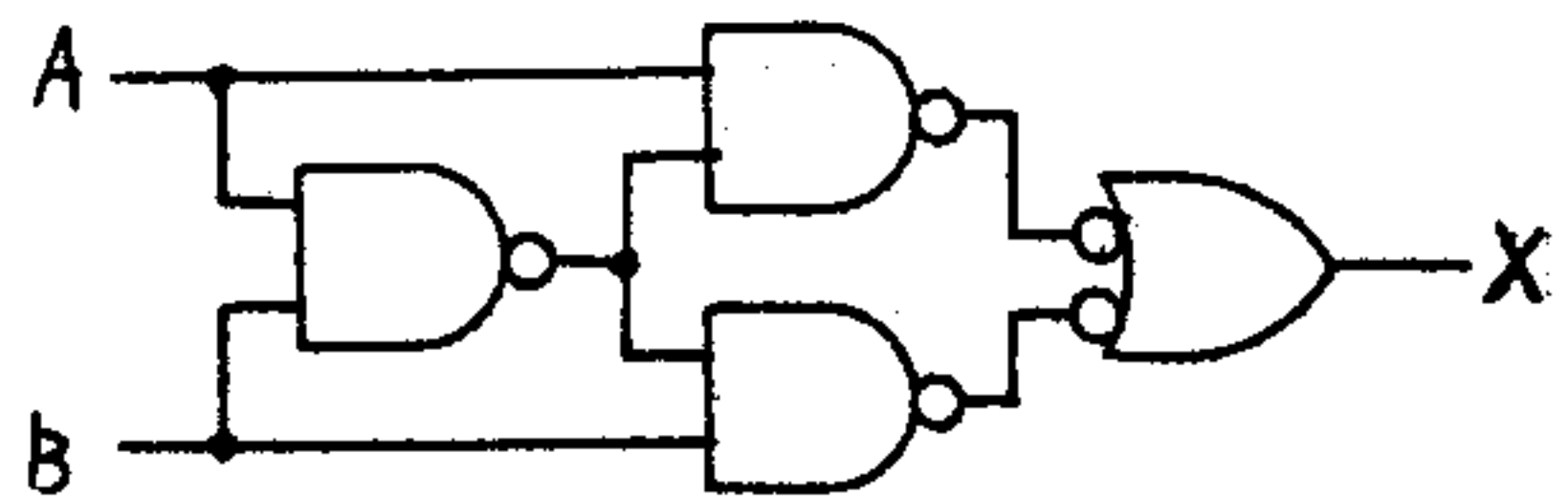
$$= (\bar{A} + \bar{B})(A+B)$$

$$= \bar{A} \cdot B + A \cdot \bar{B} \dots (b)$$

$$= \bar{A} \cdot B \cdot A + A \cdot \bar{B} \cdot B \dots (c)$$

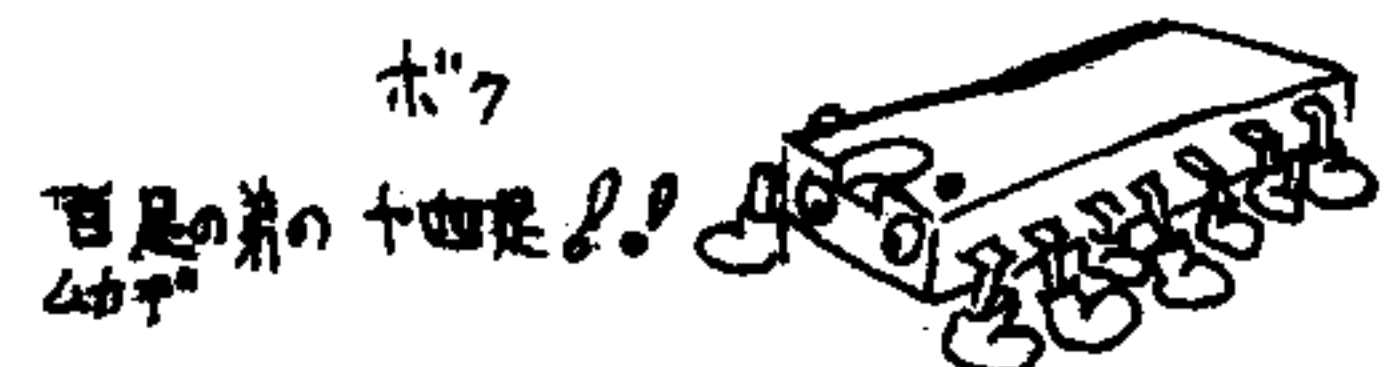
$$= \bar{A} \cdot B \cdot A + \bar{A} \cdot B \cdot B \dots (d)$$

$\bar{A} \cdot A = 0$
$\bar{A} + A = 1$
$0 + A = A$
$1 + A = 1$
$0 \cdot A = 0$
$1 \cdot A = A$



(NANDは"かつ4コで、できている!!")

次に、主な論理公式をあげておきます。



MK50362N
 (モジュール) 部品版 ¥1,200
 上野 ¥1,700
 時計計用LSI ¥1,500

LED ¥1,600
 LED ¥1,600
 ¥1,400
 ¥1,550

キabin 3点セット ¥2,900
 ¥3,500
 ¥3,600 (C,R,D付)

